

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,233	40,453
受取手形及び売掛金	37,544	39,635
電子記録債権	2,545	2,609
たな卸資産	2,211	1,798
関係会社寄託金	16,000	16,500
その他	4,927	5,243
貸倒引当金	△167	△168
流動資産合計	107,295	106,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,479	1,475
工具、器具及び備品（純額）	5,064	4,961
土地	2,032	2,032
その他（純額）	1,585	1,502
有形固定資産合計	10,161	9,971
無形固定資産		
のれん	6,765	6,605
その他	1,338	1,339
無形固定資産合計	8,103	7,944
投資その他の資産		
投資有価証券	4,256	3,937
その他	4,610	4,772
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	8,511	8,354
固定資産合計	26,776	26,270
資産合計	134,071	132,342

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,967	24,389
電子記録債務	4,910	4,821
短期借入金	392	258
1年内返済予定の長期借入金	2	2
未払法人税等	3,661	1,675
賞与引当金	1,132	2,349
役員業績報酬引当金	124	72
売上値引引当金	846	860
その他	14,369	15,395
流動負債合計	51,408	49,825
固定負債		
長期借入金	15	14
役員退職慰労引当金	199	185
退職給付に係る負債	1,764	1,699
資産除去債務	53	60
売上値引引当金	1,903	1,783
その他	3,188	2,857
固定負債合計	7,124	6,599
負債合計	58,532	56,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,238	3,238
資本剰余金	13,888	13,884
利益剰余金	65,910	66,383
自己株式	△10,327	△10,312
株主資本合計	72,710	73,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	876	651
為替換算調整勘定	84	224
退職給付に係る調整累計額	△493	△473
その他の包括利益累計額合計	466	402
新株予約権	299	289
非支配株主持分	2,062	2,033
純資産合計	75,539	75,917
負債純資産合計	134,071	132,342

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	76,370	79,048
売上原価	67,028	69,415
売上総利益	9,342	9,632
販売費及び一般管理費	5,556	5,832
営業利益	3,785	3,800
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	30	41
持分法による投資利益	15	12
その他	22	28
営業外収益合計	78	93
営業外費用		
支払利息	4	7
為替差損	10	19
その他	31	44
営業外費用合計	47	71
経常利益	3,816	3,822
特別損失		
投資有価証券売却損	—	7
その他	—	306
特別損失合計	—	313
税金等調整前四半期純利益	3,816	3,508
法人税、住民税及び事業税	1,655	1,620
法人税等調整額	△65	△240
法人税等合計	1,589	1,379
四半期純利益	2,226	2,128
非支配株主に帰属する四半期純利益	159	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,067	2,070

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	2,226	2,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△225
為替換算調整勘定	△83	142
退職給付に係る調整額	△2	20
その他の包括利益合計	△120	△61
四半期包括利益	2,106	2,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,967	2,005
非支配株主に係る四半期包括利益	138	61

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項ありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更は、自動販売機設備について、入替期間実績及び物理的寿命等を総合的に勘案し、より実態に即した耐用年数に変更するものであります。

この結果、従来の方法と比較し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ77百万円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の「その他」に含めて表示し、繰延税金負債は固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
減価償却費	611百万円	580百万円
のれんの償却額	178	204

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年4月11日 取締役会	普通株式	1,629	31.00	2018年2月28日	2018年5月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年5月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月30日 定時株主総会	普通株式	1,597	32.00	2019年2月28日	2019年5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント（IFM事業）							
	設備管理 事業	警備事業	清掃事業	建設施工 事業	資材関連 事業	自動販売機 事業 (注)	サポート 事業	合計
売上高								
外部顧客への売上高	14,102	11,074	14,247	10,503	12,906	8,106	5,429	76,370
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6	44	42	45	24	—	505	667
計	14,109	11,119	14,289	10,549	12,930	8,106	5,934	77,038
セグメント利益又は損失(△)	1,477	722	1,683	989	743	419	△274	5,760

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,760
セグメント間取引消去	△209
のれんの償却額	△178
全社費用(注)	△1,586
四半期連結損益計算書の営業利益	3,785

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

のれんについて、当社グループは、IFM事業推進に伴う戦略的費用と認識しており、各報告セグメントの算定には含めておりません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント（IFM事業）							合計
	設備管理 事業	警備事業	清掃事業	建設施工 事業	資材関連 事業	自動販売機 事業 (注)	サポート 事業	
売上高								
外部顧客への売上高	14,928	11,143	15,401	12,014	12,987	7,699	4,872	79,048
セグメント間の内部売上高又は 振替高	8	41	70	43	22	—	476	662
計	14,937	11,184	15,472	12,058	13,009	7,699	5,348	79,710
セグメント利益又は損失（△）	1,433	730	1,724	1,094	712	256	△124	5,827

（注）（会計上の見積りの変更）に記載のとおり、当社は、当第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。この変更は、自動販売機設備について、入替期間実績及び物理的寿命等を総合的に勘案し、より実態に即した耐用年数に変更するものであります。

この変更に伴い、従来の方法と比較し、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は77百万円増加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,827
セグメント間取引消去	△168
のれんの償却額	△204
全社費用（注）	△1,653
四半期連結損益計算書の営業利益	3,800

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

のれんについて、当社グループは、IFM事業推進に伴う戦略的費用と認識しており、各報告セグメントの算定には含めておりません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	39円31銭	41円47銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	2,067	2,070
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益 (百万円)	2,067	2,070
普通株式の期中平均株式数 (千株)	52,585	49,919
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	39円21銭	41円38銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数 (千株)	126	107
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったもの の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。